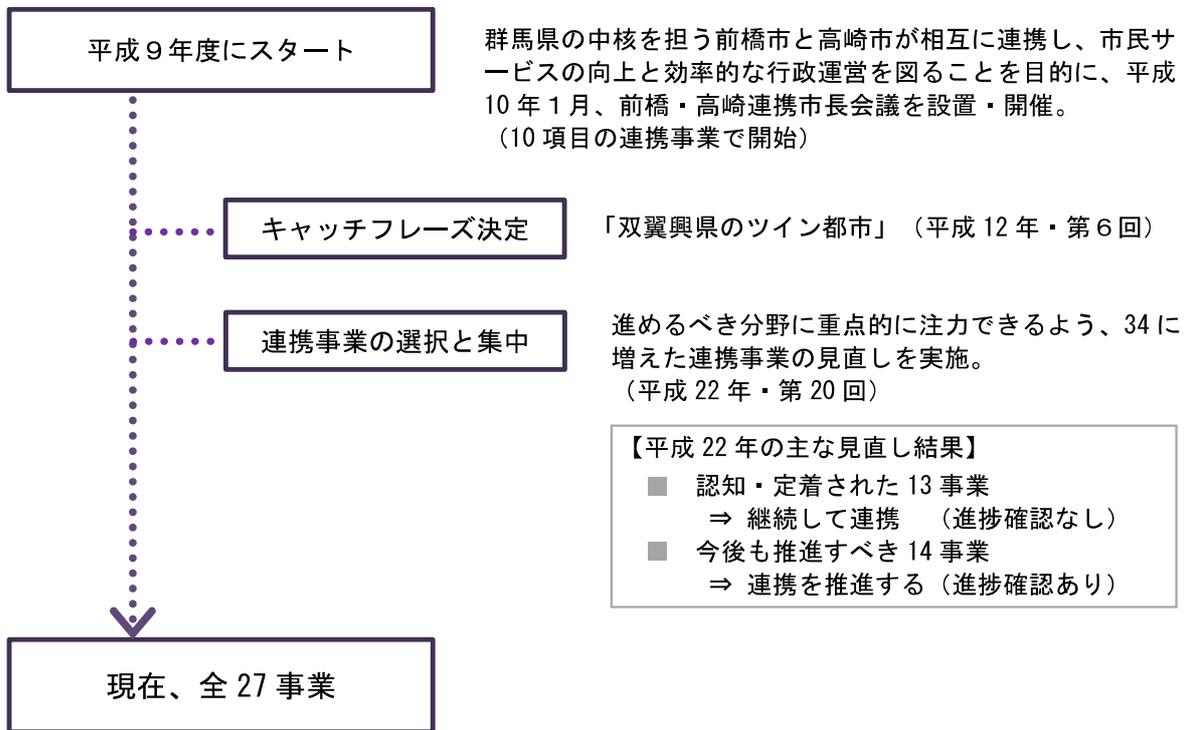


連携の経緯と現在の連携事業



▶ 連携を推進していく14事業 | 進捗確認あり

(1) 両市の友好・交流を促進する連携事業

- ① 両市まつり等での市民交流
- ② スポーツによる市民交流
- ③ 両市職員の交流
- ④ 両市美術館の連携

(2) 協力・共同で進める連携事業(ハード)

- ⑤ 都市計画道路の共同整備
- ⑥ JR両毛線の利便性向上
- ⑦ バスの利便性向上

(3) 協力・共同で進める連携事業(ソフト)

- ⑧ 文化イベントの共同開催
- ⑨ 文化財活用事業
- ⑩ 食育推進事業の連携
- ⑪ 安全安心対策の連携
- ⑫ 物産展の相互参加
- ⑬ 観光振興の連携
- ⑭ 企業誘致の連携

▶ 上記の他に連携している取り組み | 進捗確認なし(定着等している13事業)

- ・ 妊婦生活サポートグッズの配布
- ・ 福祉タクシー利用券の相互利用
- ・ ファミリーサポートセンターの相互利用
- ・ 図書館の相互利用
- ・ 出前講座の相互受講
- ・ 広報誌等への相互掲載
- ・ 上水道の相互応援
- ・ ごみ処理の相互支援
- ・ 大利根緑地公園の共同管理
- ・ 市境界付近の雨水対策
- ・ 市境界付近の下水道相互利用
- ・ 企業研修等の相互受講
- ・ 管外保育の実施

主要な連携事業の実績

1 両市の友好・交流を促進した連携事業

① 両市まつり等での市民交流 | 前橋まつり・高崎まつりへの相互参加 [H10 開始]

- 実績**
- ・前橋市の団体→高崎まつりに参加。
(参加団体) 厩橋 CHINDON 倶楽部、前橋華龍太鼓振興会、勢多農林高校
 - ・高崎市の団体→前橋まつりに参加。
(参加団体) 育英大学・育英短期大学あばれん坊太鼓、高崎ちんどん倶楽部
- 方針**
- ・今後も多くの市民交流が図れるよう、市民団体等に働きかけるとともに、見て、参加して楽しいまつりやイベントづくりのための連携を行っていく。



② スポーツによる市民交流 | バレーボール大会の共催・ヒルクライム関連連携企画 [H11 開始]

- 実績**
- ・ヒルクライム: 2 大会に参加した選手から 3 人に賞品(旅行券 20,000 円)を贈呈[該当者 1,367 人、当選者 3 人]
※2 大会…「まえばし赤城山ヒルクライム大会」
「榛名山ヒルクライム in 高崎」
 - ・第 26 回レディースバレーボール大会を開催(令和 7 年 2 月 23 日、会場:前橋市)[各市 12 チーム、計 24 チームが参加]



③ 両市職員の交流 | 人事交流・合同研修・連携事業の共同企画 [H10 開始]

- 実績**
- ・職員の相互派遣 [各市1人]
両市水道部門(前:下水道整備課、高:下水道局整備課)職員 1 名(1 年間)の相互派遣を実施。
 - ・特別(専門)研修[対象:全職員]
前橋市主催:ティーチング・コーチング研修、ワンペーパー資料作成研修
高崎市主催:クレーム対応研修、アンコンシャス・バイアス研修、ロジカルライティング研修、業務改善研修
- 成果**
- ・交流による新たな刺激、情報ネットワーク形成などの機会となっている。

④ 両市美術館の連携 | 企画展の相互開催や合同企画展の開催に向けた学芸員の交流 [H15 開始]

- 実績**
- ・令和 6 年度は実績なし
- 方針**
- ・教育普及事業の勉強会、美術品の貸借、調査研究、広報活動などの面で連携の可能性について、引き続き研究を進める。また、学芸員同士だけでなく、事務職員の意見交換も実施していきたい。

2 協力・共同で進めた連携事業〔ハード〕

⑤ 都市計画道路の共同整備 | 両市を結ぶ重要幹線道路 江田天川大島線・高前幹線 [H10 開始]

- 実績**
- ・江田天川大島線(前橋市)
社資交第3期工区の一部工事を実施し、12月に供用開始(4車線化完了)
※事業実施区間について整備完了
 - ・高前幹線(高崎市)
高崎操車場跡地周辺土地区画整理事業による道路用地確保および文化財調査を実施
第2工区(国道354号～市道競馬場通り線までの街路区間)について、補償調査、用地買収
及び物件移転補償を実施
- 方針**
- ・未着工区間については両市で連携しながら、県道昇格並びに建設促進に向けて継続的に群馬県に要望していく。

⑥ JR両毛線の利便性向上 | JR東日本に対する共同の要望活動 [H10 開始]

- 実績**
- ・前橋駅開業140周年イベントに合わせ、バス事業者も含めたイベント開催等
- 方針**
- ・平成24年7月に設置された群馬県鉄道網活性化連絡協議会(県内自治体、鉄道事業者で組織)を通じて両毛線の活性化について、検討していく。
 - ・両毛線の利便性向上のため、運行本数の増便や上野東京ラインの直通乗り入れ等について、引き続き両市でJRに要請していく。

⑦ バスの利便性向上 | 利便性向上にむけた共同研究・協調支援 [H10 開始]

- 実績**
- ・GunMaasの取り組みについて情報交換するとともに、両市を接続する前橋高崎線(芝塚経由・京目経由)に対して運行支援を行った。
- 成果**
- ・両市の循環バスの運行路線や運行方法などについて、共同で調査・研究を行うことにより、路線バスの利便性が向上している。
- 方針**
- ・今後も定期的にバスの利用促進につながる施策を検討し、両市で協議を行う。

3 協力・共同で進めた連携事業〔ソフト〕

⑧ 文化イベントの共同開催 | 様々なジャンルのイベントを共同開催 [H10 開始]

実績 ・令和6年度は実績なし。

⑨ 文化財活用事業 | 文化財展・講演会を共催し、文化意識の向上を図る [H19 開始]

実績 ・令和7年1月～2月、文化財展「東国千年の都『逸品 よく見りゃスゴイ!』」を共同開催（来場者数合計1,453人）

成果 ・両市間における歴史や民俗、風土性の相違点等の展示を行うことで、これまで以上に両市民の文化財に対する意識啓発が図れた。さらには、東日本有数の史跡の宝庫である両市を広くPRすることができた。
（文化財展通算18回開催、両市会場で合計約6万3千人来場）



⑩ 食育推進事業の連携 | 食育に関する講座等の開催 [H21 開始]

実績 ・共通テーマに沿った食育推進

前橋市：食育月間イベント（まえばし元気フェスタ）（イベント参加者532人）、工科大学健診再検査指導、共愛学園前橋国際大学短期大学部文化祭、健康ステップアップ教室、前橋市食生活改善推進員による地区活動、他課セミナー等で共通資料を配付した。

高崎市：たかさき食育・健康フェスタにおいて健康課ブース内で共通資料を配布（2,000人来場）し、出前講座等でも配布中。

・共通スローガンの周知「食卓で 笑顔と健康 育てよう」〔食育月間、食育に関するイベント等で普及〕

・広報紙への共通記事掲載

・食生活改善推進員の連携

・前橋市保健センターにて、交換レシピによる調理実習を実施。

成果 ・両市民へ食育に関する情報提供を行うことで、食への意識高揚につながっている。



⑪ 安全安心対策の連携 | 不審者情報の交換・合同の補導活動 [H18 開始]

- 実績**
- ・不審者情報の相互提供
 - ・両市合同の補導活動
〔令和6年7月12日と12月13日に両毛線・上越線・高崎駅構内において実施〕
 - ・各種情報の交換会 [2回開催(7・12月 列車内補導実施時)]
- 成果**
- ・市域を越えた安全安心対策を推進し、子どもたちの被害防止などに役立っている。

⑫ 物産展の相互参加 | 企業者の交流や育成を目的に相互に出店機会を設ける [H15 開始]

- 実績**
- ・前橋市企業→高崎会場物産展 [R6.10 第21回 たかさき雷舞フェスティバルなど] 7店
※前橋会場物産展は開催なし
(参考) 累計 前橋→高崎会場物産展 (37店)
高崎→前橋会場物産展 (12店)
- 方針**
- ・販路拡大や品質改善、販売ノウハウの蓄積などを図っていくため、継続して実施する。

⑬ 観光振興の連携 | 両市の観光素材を活かした連携ツアーなど観光人口創出の共同企画 [H20 開始]

- 実績**
- ・上毛三山スタンプラリーを実施 (R6.7.1~R7.1.31)
(上毛三山観光振興連絡協議会主催)
 - ・市役所の窓口で両市観光資料を配布
- 成果**
- ・多様な観光ニーズに対応し、観光交流人口の創出を図っている。



⑭ 企業誘致の連携 | 両市連携の企業誘致の実施を検討 [H25 開始]

- 実績**
- ・令和7年1月、担当者協議を実施
両市が抱える企業誘致に関する問題の共有、企業誘致活動に関する情報・意見交換、企業立地の動向及び企業誘致の手法について情報交換、意見交換、産業団地の分譲スケジュールや見通しについての意見交換を行った。
- 方針**
- ・国や県の企業誘致にかかる制度改正にも注視し、継続して情報交換を行う。